

てるびっと

No. 24 2018/3



海外研修KYOのあけぼの会

表題「てるびっと」はインドネシア語（京都府友好国）で「あけぼの」の意味です。
京都府の花「しだれざくら」木「北山杉」鳥「オオミズナギドリ」をモチーフにしています。

はじめに



海外研修KYOのあけぼの会
会長 田中 田鶴子

ご挨拶

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より海外研修KYOのあけぼの会の活動にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の自主研修は、京都府地域振興のプロジェクトである「海の京都」「お茶の京都」「森の京都」に着目し、旅のテーマを「森林(もり)と共に暮らすまち真庭市」と題して、岡山県真庭市への研修を企画・実施いたしました。当日は、京都府の副知事を務められた太田昇真庭市長を表敬訪問し、真庭市のプロジェクトについて直々にご説明をいただく機会に恵まれました。その後は、バイオマスツアーに参加し実際の取組について見学・体験いたしました。そして、10月21日に行われました第29回KYOのあけぼのフェスティバルワークショップにおいて、成果を発表できたことを大変嬉しく存じております。多くの方々のご参加を得て、実り多い研修となりましたこと心から感謝申し上げます。

また、今年度は、京都・パリ友情盟約締結60周年と京都とパリの両商工会議所友好協定締結30周年を迎える記念すべき年で、6月にはパリ市において記念行事やイベントが行われるとのことでございます。そこで、今年度はパリへの自主研修を計画いたしました。行程につきましては、当機関紙「てるびと」にも掲載しておりますので、是非、ご予約いただきますようご案内申し上げます。

当会は、地域社会活動のリーダーとしての資質向上や、女性関係団体相互のネットワークづくり、そして、国際交流の促進を目指して活動いたしております。私達もこれらの活動を通じて、京都府が推進されている共生社会の実現に向けて、その一助を担いたく会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

2017年度総会研修会の様子

日時：2017年4月20日(木) 11:00～13:50 場所：萬重 二階宴会場

総会

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓紹介
- 4 来賓祝辞
- 5 議長選出
- 6 議事

- ①2016年度事業及び決算報告
- ②2016年度監査報告
- ③2017年度事業計画及び予算(案)審議

7 閉会

研修会 講話「海外から見た京都の文化」

講師 京都府立大学副学長 文学部欧米言語文化学科 野口祐子教授

昼食交流会

【会員出席者】出席37/委任状出席 26計：63名(欠席者11名)

田中会長、京都府府民生活部の足立阿季子男女共同参画監よりご挨拶後、議事に入り決算・予算について審議頂き総会を終了した。



京都府府民生活部男女共同参画監
足立 阿季子

ご挨拶

海外研修KYOのあけぼの会のみなさまには、日頃から京都府政全般、とりわけ男女共同参画施策につきまして、御理解と御協力をいただいておりますこと心より御礼申し上げます。

昨年の自主研修では、バイオマスタウンである岡山県真庭市を訪問され、バイオマス産業やCLTへの取り組み、真庭バイオマス女子の活躍等について学習され、KYOのあけぼのフェスティバルのワークショップにおいて「森林とともに暮らす真庭市の挑戦～本当の豊かさを求めて～」と題して、その学習の成果を多くの参加者と共有されました。また、当日の会場後方には、真庭市の木材工芸品やバイオマスツアーのパネル等もディスプレイされており、ディスプレイの方法一つとりましても細やかな心配りが感じられ、御参加の方々が熱心に見入っておられたのがとても印象的でした。

さて昨年末、関西広域連合においても女性が活躍する場の拡大に向け、経済界と共同で「関西女性活躍推進フォーラム」が設置されました。京都府におきましては、平成27年3月、経済団体を中心に「輝く女性応援京都会議」を設置し、その推進拠点である「京都ウィメンズベース」において、企業における女性活躍のための総合的な人材育成事業である京都ウィメンズベースアカデミーを実施するなど、一層の女性の活躍推進に取り組んでいるところでございます。

これらの施策も、地域社会活動のリーダーとしての資質向上を目指し、女性関係団体のネットワークづくり及び国際交流の推進を会の理念として活動しておられる海外研修KYOのあけぼの会のみなさまの御支援があってこそ成果に繋がるものと考えております。引き続き、女性活躍、男女共同参画社会の実現に向けて、より一層の御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

講演「海外から見た京都の文化 -川端康成の『古都』に描かれた京都を中心に」

2020年に東京オリンピックを迎えるが、1964年の東京オリンピック前後の「京都」はどのような意味を持ち、現代の京都はどうあるべきか考えようと川端康成の『古都』から今を探ろうと。

『古都』は1961年(昭和36年)の京都をリアルタイムに扱ってある。高度経済成長期に入り、またレジャーブームも到来、美的価値観も変化していく中で、急速に建て替えが進み京町家は減少し始めた。景観が激変する兆しに川端は町中から古都を抱き包む三山の山波が見えなくなるのを嘆いた。また双子の姉妹千重子は中京の町家に、苗子は北山杉の里に暮らしているが、二人の暮らしの中にも心遣いやもてなしの心がなくなり観光都市化していく京都を憂えた。「私はヨーロッパでもアメリカでも、このようにこまやかな愛情とやさしい姿容の山に抱きつづかれた都会を見たことはない」「私は京都の木が好きである。都会の美しさはその都会の木によるところが大きい」と川端はつぶやき、大佛次郎も「山と水と二つの自然を損なわぬかぎり、この都はいつまでも美しく恵まれていよう」というお話だった。

平成28年3月に京都丹波高原国定公園が生まれ、昨年11月には花背の三本杉が日本一の高さであることが判明。川端や大佛に見せたかった大自然である。(木下恵子)



講師 京都府立大学副学長 野口祐子氏

2017年自主研修 「森林と共に暮らす真庭市の挑戦」～本当の豊かさを求めて～

研修先：真庭市 日程：2017年5月22日～23日

田中鶴子会長を団長に総勢14名で岡山県真庭市を訪ねて参りました。京都の山間地域の厳しい環境と同じ現場を抱えている真庭市で、林業の再生を図り、その地域資源を生かした循環型の社会をめざし、地方創生や地域活性化を進めることで、女性の活躍と本当の豊かさを求めているという、素晴らしい取り組みについて学んでまいりました。

「森林と共に暮らすま真庭市」は、鳥取県に隣接し、平成17年に9つの町村が合併して出来た岡山県の一番北部に位置する自治体です。面積828km²と全国で58番目の広さですが、その面積の80%が森林で良質なスギやヒノキの産地として林業・木材産業が発展し、また大山国立公園の一部である蒜山高原を中心とする酪農を主産業とする集散地域です。

真庭市は、北から蒜山エリア・湯原温泉エリア、市の中心部である城下町の勝山・久世エリア、そして南の落合・北房エリアに大きく4つに分けられます。京都府の太田元副知事が市長として故郷の再生に手腕を発揮されている市でもあります。市長就任4年間で、木材資源を活用した真庭市のシンボルでもあるバイオマス事業と、新建材CLT産業による地産地消を果たし、勝山町並み保存地区を柱に多くのIターンの女性達が活躍する観光事業にも取り組んでいます。

その結果、現在の真庭市は製造品出荷額、給与支払総額、有効求人倍率が共に上昇して、法人市民税や固定資産税も増収となりました。出生率も全国トップレベルに達し、まさに地域活性化が進んでいます。

太田真庭市長 表敬訪問

私たちは最初に真庭市役所の太田昇市長を表敬訪問しました。

まず市役所の正面玄関で真庭産ひのきの柱9本の柱は、9つの町や村が合併して真庭市となり、ひとつとなって輝く未来を築いていくことを表現したものだという事です。

案内して下さった庁舎内は、壁面や家具、職員の方々の似顔絵の表札など、いたるところに真庭産木材が活用されており、明るく温かな雰囲気に包まれていました。真庭産のお茶と松のカップが用意された会議室で、市長から推進されている「バイオマスタウン真庭」の市の取り組み展望についてお話を伺いました。

地方創生・地域の活性化を進めるため、地域資源を生かした循環型社会、共生する地域形成、子育てと豊かな文化構築などを目指し、邁進しておられる太田市長への表敬訪問でした。



その他視察

- ・真庭市オール自然エネルギー導入庁舎訪問
- ・勝山町並み保存地区（御前酒造元「辻本店」の酒蔵）
- ・勝山のれんアートの町（加納容子さんの工房）
- ・旧蓬喬尋常小学校（明治40年建築の国の重要文化財）
- ・勝山木材ふれあい会館
- ・銘建工業とバイオマス発電所
- ・十字屋ファーム（真庭バイオマス女子）
- ・真庭あぐりガーデン
- ・バイオマス女子との懇親会

今回の真庭市のバイオマス利用への取り組みは、成功事例として多くの示唆に富んだ研修となりました。

京都の取り組み

私たちの京都におきましても、「森の京都構想」と連携し10年後の森林の姿について「成長型林業構想」を取りまとめています。

京都は北山杉をはじめとする銘木の産地であり、木材利用の拡大はもちろん

【1】地域で支える木材利用

【2】木質バイオマスの有効利用

は課題となっており、京都市森林整備計画にも『京都の文化』を支える北山林業・北山丸太、『みやこ柚木』と並んで地球に優しい新燃料～木質ペレット～も健全な森づくりの重要な要素として挙げられています。

京都は「森林国」であり「林業国」です。

森の京都でも「植える」、「育てる」、「使う」、「そして植える」というあたりまえと思われる循環こそが、森の恵みを未来につなぐといわれております。だからこそ森に関心をもたなければならないことを、改めて心に刻むこととなりました。

第29回 KYOのあけぼのフェスティバル2017

ワークショッププログラム

海外研修KYOのあけぼの会 協力/京都商工会議所女性会

日時:2017年10月21日(土) 13:00~14:30 場所:京都テルサ

1 開会挨拶

海外研修KYOのあけぼの会 会長 田中 田鶴子

2 自主研修発表「森林と共に暮らす真庭市の挑戦」～本当の豊かさを求めて～

全体像 岡野 路子
 太田真庭市長表敬訪問 城山 博子
 勝山町並み保存地区 西村 温子
 真庭バイオマス産業・CLTへの取り組み 梅谷 康子
 真庭バイオマス女子の活躍 木下 恵子
 映像編集 神田 尚子

3 講演「豊かなくらし」

講師紹介 海外研修KYOのあけぼの会 副会長 一瀬 裕子
 講師 株式会社Hibana 代表取締役 松田 直子氏

4 閉会挨拶

海外研修KYOのあけぼの会 副会長 岡野 路子

設置した展示コーナーでは、海外研修KYOのあけぼの会の活動紹介や今回テーマでもある真庭市の木材工芸品やバイオマスツアーについてなど、写真や作品を展示しご来場のみなさまにお楽しみいただきました。研修発表、講演とも成功裡に終了しました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



入会案内

私たちは、地域社会のリーダーとして、国際交流の促進や環境保全に取り組むために、毎年研修旅行や、女性の自立と社会参画を促進する事業を実施しています。世界遺産等の訪問地では、自然環境の保全と観光による地域活性について学ぶなど、男女共同参画による地域社会づくりを目指しています。

海外研修KYOのあけぼの会 ご入会をお待ちしています

年会費 3,000円(4月~翌3月)
 ご入会のお問い合わせ・申込は
<http://kyo-akebono.com/newsttopics/>
 または TEL 075-241-0891 事務局(大和学園内)

主な研修地

2003年	韓国 女性起業家との交流	2010年	イギリス湖水地方のナショナルトラストに学ぶ
2004年	由布院 町おこしの先進地	2011年	大地の公園・山陰海岸ジオパークの地域おこし
2005年	米国アスペン 京都の歴史・水力発電の源をたずねる	2012年	海洋島・小笠原諸島の自然保護活動
2006年	世界遺産 熊野古道の歴史・自然・環境から学ぶ	2013年	デンマーク・ロラン島の風力発電・自然再生エネルギー
2007年	スイス・チューリッヒで教育・福祉等で活躍する女性と交流	2014年	世界遺産登録を目指す五島列島の地域活性化と女性の活動
2008年	世界遺産・石見銀山の文化的景観を訪ねる	2015年	戦後70年の原爆ドーム・近代化産業遺産別子銅山
2009年	世界遺産・知床の温暖化対策と流水トラストに学ぶ	2016年	ポルトガル 輝く女性を訪ねて
		2017年	森林と共に暮らす真庭市でバイオマスツアー



2007年スイス・チューリッヒで教育・福祉等で活躍する女性と交流



2008年 世界遺産・石見銀山の文化的景観を訪ねる



2009年 世界遺産・知床の温暖化対策と流水トラストに学ぶ



2010年 イギリス湖水地方のナショナルトラストに学ぶ



2011年 山陰海岸ジオパークの地域おこし



2012年 小笠原諸島の自然保護活動



2013年 デンマーク・ロラン島の風力発電・自然再生エネルギー



2015年 戦後70年原爆語り部



2017年 森林と共に暮らす 岡山県真庭市の挑戦・バイオマス女子の活躍

海外研修KYOのあけぼの会研修旅行
～文化で通じ合うパリと京都～

2018年京都・パリ友情盟約締結60周年、商工会議所友好協定締結30周年記念応援ツアーと
オーストリアの古都ザルツブルグを訪ねて。

日時 / 2018年6月18日(月)～25日(月)8日間 募集 / 20名
費用 / エコノミークラス433,000円 別途 / 燃油サーチャージ+空港税、オプション代金

- 6月18日(月) 関西空港発10:50 フランクフルト空港経由 パリ着17:20 専用車 市内ホテルへ
(パリ泊 / ノボテルパリセントレトゥールエッフェル)
- 6月19日(火) パリ あけぼの会の視察交流 I
パリ市内で管轄省庁表敬訪問、活躍されている女性達と交流
終了後、自由行動。散策やショッピング
現在、以下行事参加で調整中
★京商主催、京都市共催、京都府後援『京都知恵ビズメイト in Paris』(仮称)参加
★京都パリ記念式典(詳細未定)◎代表者様など式典&レセプション参加(パリ泊)
- 6月20日(水) パリ あけぼの会の視察交流 II 自由行動。散策やショッピング(パリ泊)
- 6月21日(木) パリ～空路ミュンヘンへ～専用車～オーストリア・チロル地方インスブルックへ
インスブルック ○パッチャーコーフェル又はゼーフェルトのショートハイキングへ
(インスブルック泊)
- 6月22日(金) イエンバッハ ○ツイラータール渓谷観光(蒸気機関車)
ザルツブルク ○世界遺産の街ザルツブルク市内観光
☆ご希望の方はオペラ(ケテック)鑑賞に(ザルツブルク泊)
- 6月23日(土) ザルツブルク 終日、自由行動。ご希望者は以下オプションへご案内
●1日ザルツカンマーズ観光(登山鉄道でのシャベルク観光、ヴォルフガング湖
遊覧船、『サウンドオブミュージック』の舞台・モントゼー、世界一美しい湖畔と言われるハル
シュタット世界遺産) (バス利用)
●ウーレン&ハイリゲンシュタット(ヴェートーベン所縁の町1日観光)
(特急列車で片道2時間20分) (ザルツブルク泊)
- 6月24日(日) ザルツブルク発10:45～フランクフルト経由～フランクフルト発13:20 帰国の途に
(機中泊)
- 6月25日(月) 関西空港着 07:40

ご注意：発着時間、交通機関等は変更になる場合がございます。飛行機/ルフトハンザドイツ航空 JTB西日本京都支店

編集後記

平成30年も早や三ヶ月が過ぎました。新しい年を迎えて会員の皆様はどんな夢、抱負を描かれましたでしょうか。
昨年、私達は、国内研修として岡山県真庭市で「女性活躍の政策」や「木材の活用」について学んでまいりました。その
成果をKYOのあけぼのフェスティバルのワークショップで発表しました。“おそすぎないうちに”みどりの森を守り育て緑
化に取り組みたいと思います。(福島宣子)

2018.3 発行 / 海外研修 KYO のあけぼの会
〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る大和学園内
TEL 075-241-0891 FAX 075-241-0831

 株式会社 JTB 西日本	 なが——い、おつきあい。 京都銀行	 taiwa THE ACADEMY OF HOSPITALITY 学校法人 大和学園 http://www.taiwa.ac.jp
--	---	---

男女共同参画社会に積極的にご参加の企業様に協賛をいただいております。